

普及課だより

No. 44

2017.10

東三河農林水産事務所農業改良普及課
(東三河農業普及指導センター)

〒440-0833 豊橋市飯村町高山11-40

TEL : (0532)63-3529 FAX : (0532)63-7023

HP : <http://www.pref.aichi.jp/>

nourin-higashimikawa/higashimikawa-fukyu/

新しい技術の紹介

キク電照用LEDランプを

生産者が協力して開発

J Aひまわりスプレーマム部会に所属する生産者1名と個人起業者が協力して、花芽分化抑制効果のある暗赤色(六六〇ナノメートル)と白色のLEDチップを組み合わせた電球型のランプを開発しました(写真は試作品)。

農業改良普及課が試験設計や調査を支援して現地試験と試作を繰り返すなかで、生産者は現場の目線から数々の改良点を起業者にアドバイスすることで早期の完成に至りました。

開発されたランプは、構造に工夫があり、従来品よりも安価で消費電力が小さく、球切れなどのトラブルも少ないことから、J Aひまわりは、このランプを資材部で販売することを決定しました。

この事例に見るように、農業者や産学官が新しい技術やアイデアを持ち寄り、農業者のニーズに直結する技術開発を始めとして、生産現場が直面する様々な課題の速やかな解決を図る取組が、今後農業の現場で盛んに行われることが期待されます。



豊川市の酪農家が搾乳ロボットを導入し楽脳の実践

豊川市で酪農を営むF牧場(経産牛一〇頭)は、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業を活用し、平成29年4月に搾乳ロボットシステムを完成させました。このシステムは、放し飼い方式で飼育される乳牛が自分の意志で好きな時間に移動し自動的に搾乳するもので、負担の大きい搾乳作業の削減ができます。農場のほとんどの乳牛をロボットで搾乳する事例は東三河地域では初めてとなります。

F牧場が搾乳ロボットの導入を決意したのは、規模拡大により、雇用の確保・維持と費用に苦慮することで、雇費用の削減と綿密な管理による更なる乳量乳質の改善や、繁殖和牛の導入で副産物収入となる肥育用子牛の増産・収益性の向上を目指してのことだそうです。

導入されたシステムは個体を識別し、搾乳時に乳量の記録とともに、牛の首に装着する端末により、分娩の目安となる牛の行動変化(反芻回数や歩数)も記録され、牛の健康管理も容易になるなど、開発当初にない機能が備わったことも導入を決意した要因の一つだそうです。



管内農業の話題

豊橋、豊川、蒲郡いちご部会 夏期の高温対策を学ぶ

農業改良普及課は、J A豊橋いちご部会、J Aひまわりいちご部会、J A蒲郡市苺部会を対象として夏期の高温対策を学ぶ現地視察研修会を開催し、33名が参加しました。

高温対策として自作ミストファンや冷却水循環装置を導入しているJ A蒲郡市の苺部会員2戸の育苗ハウスを視察しました。ミストファンは気化熱によるハウス内の温度低下や加湿効果が確認されています。また、冷却水循環装置は根元に冷却水を点滴かん水することで育苗の親株のクラウンを冷却することが可能です。

視察先の農家2戸から、挿し苗の活着が良くなったことなどの導入効果や、自作によるコスト削減の説明を受けました。

参加者の関心は高く「自作によってミストファンを安価で導入できるの、ぜひやってみよう」という感想もありました。



管内農業の話題

山本保一・千代夫妻

全国果樹技術経営コンクールで受賞

豊橋市石巻小野田町のブドウ農家、山本保一・千代夫妻が、平成28年度の第18回全国果樹技術・経営コンクールで、全国農業協同組合中央会会長賞を受賞されました。

山本氏は、多品種生産による労力分散、平行整枝短梢剪定の導入による管理作業の単純化で、パート労働力を有効活用し、高齢ながらも市内最大規模のブドウ経営を行っています。

また、長年農協ぶどう部会役員として貢献してきたこと、新品种・新技術を率先して導入・実証し、地域に還元するなど、地域に対する指導的役割を果たしてきたことも、高く評価されました。



曾田義則氏が「花き技術・経営コンクール」で

農林水産大臣賞を受賞

豊川市野口町で多肉植物を生産する曾田義則さんが、花き生産に係わる技術・経営の優れた経営体を表彰する「第26回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクール」(日本花普及センター主催、農林水産省後援)の最高賞である農林水産大臣賞を受賞されました。

オリジナル品種を育成してユーモアあふれる商品名をつけたり、出荷箱を工夫して商品価値を高めるなど、需要を創造する経営手腕が高く評価されました。



新農業経営者セミナー開催

8月25日、就農3年目までの新規就農者及び農業次世代人材投資資金受給者を対象として、「農業制度・部門別研修」を開催しました。

農業制度研修では、日本政策金融公庫などの関係機関から農業制度資金、自治体の就農支援制度、青年等就農計画、家族経営協定などについて説明しました。

部門別研修では、作目ごとに6つのグループに分かれ、技術指導グループの普及指導員と意見を交えつつ自家経営における課題、将来の目標、目標達成に向けた手段の検討を行いました。



豊橋市で農業法人設立セミナーが開催される

法人化に関心のある農業者を対象とした「農業法人設立セミナー」(愛知県主催)を、7月21日にライフポートとよはしで開催しました。

税理士の安形京子氏による法人化のメリットと留意点の講義、岡崎市でハイドロカルチャーによる観葉植物を生産する(有)三浦園芸社長の三浦基彰氏による法人化の意義と法人経営者としての心構えの講演がありました。

また、法人化に向けてさらに具体的なアドバイスを希望する農業者に、税理士や社会保険労務士らによる個別相談も併せて行いました。

11月8日には、同会場で2回目のセミナーを開催します。



普及課からのお知らせ

農業法人設立セミナー2017 《参加者募集》 主催：愛知県 共催：豊橋市 運営：JA愛知中央会

内容：「法人化のメリットと留意点」 安形京子 税理士

「私の法人経営紹介」 愛知県内の農業法人経営者 ほか

日時：平成29年11月8日(水) 13:15～16:10

会場：ライフポートとよはし 男女共同参画センターパルモ(豊橋市神野ふ頭町3-22)

申込み：10月30日(月)までにTEL/FAXで普及課へ(連絡先は表面参照)

※関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

